

液体粘土でTシャツの素材感をそのままに固めてみよう

# Tシャツを固めてみよう

## 作品づくりのオススメポイント

- 水分が多く、なめらかなクリーム状なので手触りも楽しめます。
- 乾燥すると、紙・布・ひも・ティッシュペーパーなどの柔らかい材料を紙粘土のように固める事ができます。
- 乾燥後に水彩絵の具などで簡単に着色する事ができます。

## 用意するもの

- ドロリー (L)
- バケツ
- 段ボール
- レジ袋
- 長細いポリ袋
- 筆
- 粘土板



1 ドロリーで固めるTシャツを用意します。

**POINT** Tシャツのサイズは120cm程度のものを用意してください。



2 Tシャツの胴体に入る段ボールを丸めレジ袋を被せます。

**POINT** スーパーのレジ袋などを段ボールに被せると抜き取りやすくなります。



3 バケツにTシャツを入れて上からドロリーを注ぎます。

**POINT** バケツが無い場合は絵の具の水入れなどで代用します。



4 よくもんでTシャツにドロリーを馴染ませます。

**POINT** ドロリーの染みてない所がないようにしっかりとつけます。



5 ドロリーを馴染ませたTシャツを段ボールに被せます。

**POINT** 粘土板を敷いて、汚れないようにしてから被せましょう。



6 長細いポリ袋を袖に通して形を整えます。

**POINT** 傘を入れる長細い袋などで腕の部分の膨らみをつくります。



7 ドロリーの塗れていない部分は筆で塗り乾燥させます。

**POINT** 5日ほど自然乾燥させると紙粘土のように固くなります。



8 乾燥後、段ボールと袋を外して完成です。

**POINT** 乾燥後、絵の具で着色して仕上げる事も出来ます。



※Tシャツ以外にも、靴下や上靴なども固める事ができます。